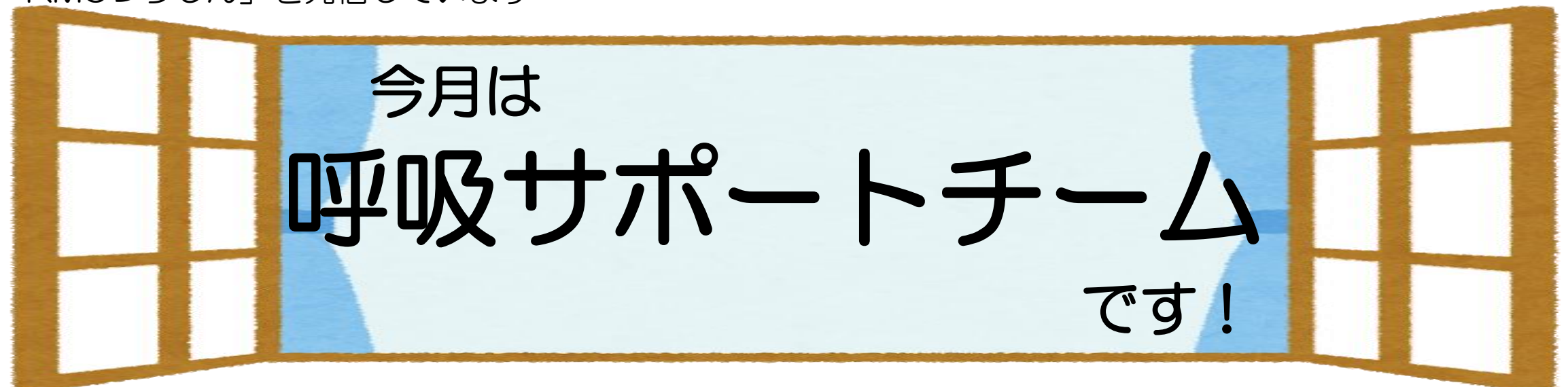




Vol.2

2018.9月発行
医療サービス向上委員会
広報チーム

「新たな情報をみんなの手に」をキャッチフレーズのもと、患者さま及びご家族、来院される皆さまに対して「KMCつうしん」を発信しています



今月は 呼吸サポートチーム です！

何をする部署ですか？



RST（呼吸サポートチーム）は呼吸療法を受けている患者さまが適切な管理がおこなわれるようにアドバイスしたり呼吸器からのウィーニング（離脱）のお手伝いをしたり院内の酸素療法を含めた呼吸ケアの総合管理などをする多職種で構成された医療チームです。

構成メンバーには、医師・看護師・臨床工学技士・薬剤師・理学療法士・管理栄養士・事務員の総勢15人です。

主な活動場所は集中治療室ですが呼吸管理をしている患者さまがいれば一般病棟へも出向いて回診します。

サポートの具体的な内容としては、人工呼吸器の設定条件を調整したり、肺炎にならないために痰を出すための体位を考えたりなどの呼吸理学療法がありますが、必要であれば痛みを取ってあげたり眠らせたりなどのアドバイスもしています。また毎月1回RST会議を開催し活動状況報告や問題点などを話し合い、最後に全員で介入中の患者さまの回診を実施しています





ICUラウンド風景



看護師（呼吸療法認定士）：
「先生、〇〇さん、呼吸状態
が安定しているので、呼吸器
設定を変更しますか？」

医師：
「状態よさそうですね。
少し呼吸回数の設定を
減らして呼吸状態を観
察しましょうか」

薬剤師：
「鎮静剤の使用状況は
〇〇です」

リハビリ：
「呼吸理学療法を日勤
帯で2回実施したいと思
います」



RST会議風景

集中ケア認定看護師：
「今月の活動報告を行います」

看護師（呼吸療法認定士）：
「今月の勉強会は酸素療法を
予定しています」




医事課：
「今月の呼吸サポート
加算の実績は〇〇件で
した」



RSTチームメンバーの一日

看護師さん2名の1日を紹介します



8:30	出勤 情報収集（患者さんの状態把握など） カンファレンス （患者さんの状態を基に一日の活動内容などを話し合います。時々患者さんも一緒に参加してもらうこともあります） 呼吸ケア・リハビリテーション
12:00	昼食
13:00	呼吸ケア・リハビリテーション
16:30	RSTラウンド （夜間や休日中の呼吸管理について話し合います） 夜間の呼吸管理や指示等の記録
17:15	終業

★ICU病棟勤務
集中ケア認定看護師

★?年目

★趣味：サイクリング



学生時代の部活動：
吹奏楽部

私はチーム活動の調整役を行っています。チームメンバーは各職種で専門性の高い知識や技術を習得しており、連携を取りながら患者さんの呼吸状態の改善を目指しています。

メンバーの音色が重なって素敵なハーモニーが奏でられるように、みんなで力を合わせて活動していきたいと思います。



8:30	出勤 病棟での業務 ICUの呼吸ラウンド
12:00	昼食
13:00	病棟での業務
16:00	RST会議参加 RSTラウンド
17:15	終業

★ICU病棟勤務

★13年目

★趣味：
バイクツーリング



鹿児島医療センターには、多くのバイク乗りがいます。ぜひ、一緒に走りに行きませんか。お待ちしております。

平成25年に3学会合同呼吸療法認定士を取得し、翌年よりRSTチームで活動しています。現在、ICUで勤務しており、呼吸ケアの相談やRST介入患者が多い部署です。その分、悩んだり迷ったりすることも多いですが、呼吸状態を少しでも改善させるため、RSTメンバーやICUスタッフの協力を貰いながら日々奮闘中です。

定期的な勉強会などありますか？

呼吸に関するいろいろな疑問や知識の向上のために“出前講座”と称して各部署からの依頼を受けて不定期ですが年に数回行っています。下記に講義内容の一覧を示します。

	テーマ	講師
1	人工呼吸器の管理・原理	臨床工学技士
2	非侵襲的陽圧呼吸の管理・原理	
3	経鼻高流量酸素療法	
4	人工呼吸中の看護	集中ケア認定看護師
5	呼吸理学療法	理学療法士
6		集中ケア認定看護師
7	非侵襲的陽圧呼吸施行中の看護	呼吸療法認定士
8	酸素療法	呼吸療法認定士
9	画像の見方	医師
10	血液ガス分析	医師
11	呼吸不全のある患者の栄養管理	管理栄養士
12	呼吸管理に使用する薬剤	薬剤師
13	人工呼吸器を体験する	臨床工学技士
		集中ケア認定看護師

部署のアピールをお願いします！！

平成23年に多職種チーム活動推進という医療情勢の流れの中で10人で結成されたチームでしたが、今では15人にまで増え、それぞれが得意の専門性を持った人たちでありその知識・技術を十分に発揮してくれています。チームの雰囲気はいたって和やかでカンファレンスも和気あいあいといった感じでやっています。これからも患者さまが一日でも早く呼吸療法から離脱・終了できるようにお手伝いしていきますのでよろしくお願いします。



文責：佐保麻酔科医長